



探しものは、Shingan が見つけます。

POINT

1

データを取り出すルールの変義は不要。
Shinganが自力で文書の特徴を見つけてます。

Shinganを利用するために、まず文書から抽出したい項目にマークをつけて答えを教える作業をします（タグ付け）。Shinganは、そのタグ付け情報をもとに項目を取得するための抽出ルールを自ら作成していくため、事前にルールを定義する必要はありません。

POINT

2

再学習を繰り返し、
利用しながら精度を高めていきます。

Shinganでは、文書から抽出した項目に対して結果の確からしさをパーセンテージで表示します。「正しい可能性が高い」と判断した抽出項目ほど値が大きく、データチェックの判断に役立ちます。確度が低かった項目については、正しい答えを再学習させて抽出の精度を高めることができます。

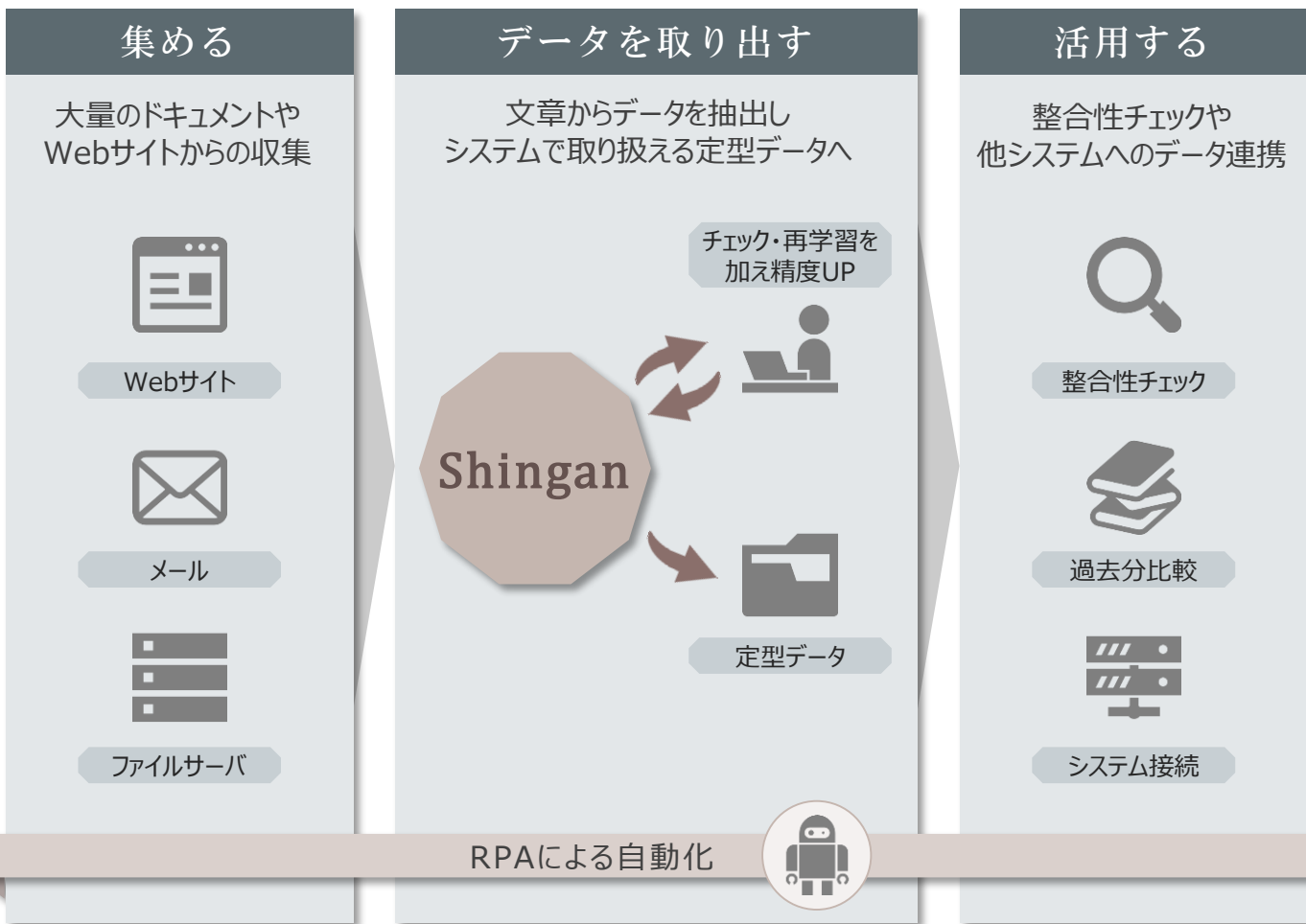
POINT

3

言語は問いません。
日本語・英語・中国語もOK。

Shinganは、自然言語処理技術により特徴量を学習しますが、特徴量の算出やモデルの学習方法は全ての言語に共通のため、日本語以外の言語も対応可能です。日本語・英語・中国語の解析精度の検証に加え、今後はその他の言語にも拡大する予定です。

Shinganは、従来より取り組まれている構文解析などの日本語処理技術と、近年急速に応用が広がっている機械学習やディープラーニング技術との組み合わせにより、文章から取り出したい項目を自動で抽出するソリューションです。システムで取り扱えるデータに整え、後続のシステムへの連携を可能にします。業態を問わず、大量のドキュメントを利用した過去との比較や項目チェック等々、幅広い業務で活躍します。



Shinganでのデータ抽出のオペレーションは、RPA（Robotic Process Automation）で自動化できます。複数のデータソースからの情報収集から始まりShinganでデータ抽出した後のシステム連携まで、一連の業務を効率化することで、これまで人による作業や判断が必要な業務プロセスのデジタル変革（デジタルトランスフォーメーション）を実現します。

株式会社 **野村総合研究所**
金融デジタル企画一部



wstech_info@nri.co.jp

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

310-002-01-1907